

(仮称)健都ライブラリーに対する意見募集の結果について (意見募集期間:平成30年(2018年)2月15日～3月20日)

	意見	吹田市立図書館の見解等
1	親子で健康づくりができるイベント 絵本を利用した親子で暮らしを考えるイベント など、人が集まるきっかけをたくさんつくると良い	親子向け、子供向け、大人向け、様々な切り口でイベントを企画していきたいと考えています。
2	カフェやスポーツに関するコーナー等は大賛成。 できれば駐車場等も設置してほしい。	コーナー等への賛成意見をありがとうございます。 駐車場は設置する予定です。
3	・健康に関することはなんでもわかる ・市民へのサービス第一	1階に健康に関するコーナーを設置する予定で、このコーナーに健康や医療に関する資料を集めて並べます。
4	かいけつぞろりがすきです。	「かいけつぞろり」シリーズは子供達に人気の本ですので、児童書コーナーに揃える予定です。
5	今、インフルエンザが大流行しております。空気感染はもとより、“接触感染”も非常に多いと聞いております。小さなお子様や、ご老人の多い場所ですので、入口辺りに「消毒用アルコール」等を置かれてはどうか？	図書館は様々な年齢層に利用していただく施設であり、インフルエンザ等が流行する季節には「消毒用アルコール」の設置について検討します。
6	吹田北部(北千里周辺)の人口少なくないにも拘わらず、市インフラストラクチャ、文化面他、南部も比べてお粗末です。もっと北地区に配慮して下さい。 (南部は本庁舎や諸交通、公園など刻々と作られてますので)	旧北千里小学校跡地を利用し、千里図書館北千里分室は拡充の方向性で検討を進めております。
7	これ以上図書館つくらなくてもいいと思う (図書館めぐりできるくらいあるから) 作るにしても0系新幹線はいらないと思う	(仮称)健都ライブラリーは、長年、図書館利用の不便地域であり、要望の高かった岸部地域に整備するものです。 子供から大人まで人気のある0系新幹線を設置し、全市域から来館する市民の方に健康への気づきを持ってもらうとともに、吹田操車場の歴史等を併せて展示するなど、活用を図ってまいります。

	意見	吹田市立図書館の見解等
8	<p>■落ち着ける空間作りのために、照明に電球色と間接照明をご検討ください</p> <p>◎青白い直接照明は疲れます 現在の市内の図書館の照明は、昼光色か昼白色による直接照明です。昼光色と昼白色は青白く、屋間の太陽光に近いので、目を醒ませる効果がありますが、その分落ち着かず、疲れやすくなります。直接照明は人を直接照らすため緊張させ、部屋の隅々まで照らし目に入る情報を増やし疲れやすくします。また平坦で安っぽい印象になります。特に発達障害に見られる光過敏を持つ人にとっては、青白い光が隅々まで照らす空間は疲れます。</p> <p>◎電球色の間接照明は落ち着きます 落ち着ける空間を作るには、電球色と間接照明を使うのが一般的です。電球色のオレンジ色は夕焼けやたき火と近く、人を落ち着かせます。間接照明はやわらかい光になり、人を落ち着かせます。明暗のメリハリが付き、リッチな印象になります。そのため、一定以上の格の飲食店やホテルなどでは、必ず電球色と間接照明が使われています。</p> <p>◎手元は別途照らします 部屋全体は電球色と間接照明で、本を読むために別途手元を明るくするのが理想です。Google画像検索で「Library」と検索すると、海外の図書館でそのような例が見られます。</p> <p>参考文献：『頭がよくなる照明術』結城未来／PHP新書</p>	<p>照明について、細やかな御意見をありがとうございます。よりよい読書環境を整備するため、館内は明るすぎず、暗すぎず、色合いも配慮して検討を進めてまいります。</p>
	<p>■環境音をなるべく静めるようにお願いします</p> <p>上記に似た件ですが、市内の図書館では照明や空調の「ジー」「ゴー」という環境音が目立ちます。精神的に不安定な人は、このような音を聞かされると不安感が増します。なるべく静めていただくようよろしくお願いいたします。</p>	<p>市内の図書館では、御指摘のような環境音が聞こえることもあり、ご迷惑おかけしています。 (仮称)健都ライブラリーでは、静寂を迫るのではなく、小さくBGMを流すことなども検討してまいります。</p>
9	<p>これからは国際化社会。 英語を話せるコーナー(無料)を目玉に！</p>	<p>(仮称)健都ライブラリーでは、健康増進に関する取組みをコンセプトとしています。それに関するイベントなどのバラエティーに富んだ企画を検討・実施していきたいと考えています。</p>

(仮称)健都ライブラリーに対する意見募集の結果について (意見募集期間:平成30年(2018年)2月15日～3月20日)

	意見	吹田市立図書館の見解等
10	<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上、図書館は不要。 ・さんくす館を充実するべき。 ・吹田駅の活性化にもなる。 ・これ以上、吹田駅周辺のにぎわいを低下させる行為は許せない 	<p>さんくす図書館を大切に思っていたいただき、ありがとうございます。 (仮称)健都ライブラリーは、長年、図書館利用の不便地域であり、要望の高かった岸部地域に整備するものです。</p>
11	<p>予定されていると思いますが、無線LANがあると便利です。 体の状態を知るための機器が常設してあれば「健都」に見合うと思います。 個人的に簡単にわからない血糖の値(血糖値 HbA1c)が無料で測定できればありがたいです。 不定期で専門家のアドバイスなど受けられればなおよいと思います。</p>	<p>現在、千里図書館、山田駅前図書館、千里山・佐井寺図書館に無線LANを設置しています。(仮称)健都ライブラリーにも同様に設置する予定です。 1階の「健康応援コーナー」には、来館された方が気軽にご自分の健康状態を調べていただけるような健康測定機器を設置する予定です。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・自然光を上手に取り込んだスペースがあれば良いと思う ・天井は高くを希望します。 ・本棚はさほど高くなく (地震の時に困ります) ・駅から雨に当たらない道も造って欲しいです。 	<p>環境に配慮し、窓などガラス面を大きく取って、明るい外からの光を入れるように計画しております。 天井の高さや書架の高さなども、伸び伸びとした空間となるように検討を重ねてまいります。 地震対策として、書架は全て床に固定する予定です。 JR岸辺駅からは連絡通路、駅前複合施設等を経由していただければ、ある程度の距離は雨に当たらずに移動していただけます。</p>
13	<p>岸部駅方面は遠いので、江坂公園あたりにも作ってほしい 健康にはかんしんがあるので良いと思う。</p>	<p>江坂図書館でも(仮称)健都ライブラリーの資料は利用していただけます。</p>
14	<p>大人も子供も楽しめる図書館にして頂きたい。現案では、同一フロアーになっている閲覧場所を階で分けるか、室で分けるか、お願いします。(子供はノビノビ遊び、大人は静かに読書)</p>	<p>1階は健康に関するコーナー、雑誌を配置したラウンジ、ゆったりくつろいでいただくカフェコーナー等のスペースとして計画しており、2階がいわゆる従来の本が並んだ図書館のスペースとなる予定です。 階段、カウンター、トイレ等を間に挟んで、一般書と児童書のコーナーを分ける計画をしております。</p>

(仮称)健都ライブラリーに対する意見募集の結果について (意見募集期間:平成30年(2018年)2月15日～3月20日)

	意見	吹田市立図書館の見解等
15	<p>新しいコンセプトの取り組みではありませんが、北千里の分室を何とか考えて頂けませんか。もう40年も住んでいますが、すわる場所もありません。新しい町には図書館が整備されているのに、ここはいつまでも分室で本の取次だけの利用です。分室をどうしたらよいか考えていただけませんか。勿論行政の範囲でしょうが、分室について声をあげて頂けないでしょうか。</p>	<p>旧北千里小学校跡地を利用し、千里図書館北千里分室は拡充の方向性で検討を進めております。</p>
16	<p>健都ライブラリーの建設にあたり、つぎのとおり提案します。 ○提案1 JR線路、健都建設地を横断またぐ形で幅員6m程度の歩道デッキを少なくとも2カ所設け、地域が分断化されている地域の一体化を図ること。 健都ライブラリーとJR線路南側の目俵市民体育館、館前の緑化道路およびJR吹田駅前広場さんくすなどと連結できる。また、分断化されている地域が連携できる。 ○提案2 JR吹田駅と阪急吹田駅を交通の利便性を図るため、両駅を歩行デッキでつなぎ、駅同士の一体化を図ること。 これによって、吹田北部地域の人々の往来を円滑にすることができる。人々をこの地域・施設に導くことができる。 ○提案3 JR岸辺駅と阪急正雀駅を交通の利便性を図るため、両駅を歩行デッキでつなぎ、駅同士の一体化を図ること。 これによって、大阪市域等の周辺地域からの人々の往来を円滑にすることができる。人々をこの地域・施設に導くことができる。</p>	<p>御提案をありがとうございます。 いただきました御提案につきましては、関係部署と共有させていただきます。</p>
17	<p>国循や吹田市民Hpに入院している患者に本を貸しだしてあげると喜ばれると思う。</p>	<p>国立循環器病研究センターや市立吹田市民病院に入院している方への貸出は現在も行っておりますが、出向いての貸出については、今後、関係機関と協議してまいります。</p>
18	<p>健康・医療に関して、図書館外の専門家と連携してしっかりした内容にするとともに、誰でも気軽に利用できるものにしてください。 基本的な図書館本来のサービスについては、岸部地域の初めての図書館なので、充実した専門家集団で展開して行ってください。 アンケートもいいのですが、近隣住民などの要望を直接聞き、話し合いを重ねてよりよい図書館にして行ってください。 えほんコーナーはじゅうたんではなく、靴をはいたまま本が手にとれるようにしてください。ひもぐつやブーツをはいている時、あきらめたことがあるので。 子どもの声がうるさいと保育所建設などあちこちで問題になっています。子どもがのびのびと利用できるよう、大人とのあつれきをうまない工夫をしてください。</p>	<p>1階に「健康・医療・スポーツコーナー」に健康や医療に関する資料を集めて並べます。カウンターには資料の調べ方などの相談に応じる図書館司書が常駐します。また関係機関との連携を行っていくよう協議してまいります。 近隣住民の方々に対する説明会も開催しておりますが、普段、図書館を利用して下さっているの方々からも御意見をいただきたく、この度のアンケートを実施いたしました。えほんコーナーと続きで、おはなしスペースを設置予定であり、子供達が靴を脱いでくつろいだ状態で、読み聞かせなどを行う空間としたいと考えています。 一般書と児童書のコーナーは、階段、カウンター、トイレ等を間に挟んで、空間を分ける計画をしております。</p>